

26. 眼窩上神経ブロックと抗凝固・抗血栓療法

CQ28：抗凝固薬・抗血小板薬を使用している患者に眼窩上神経ブロックを安全に施行できるか？ 出血性合併症のリスクは対照群（抗凝固薬・抗血小板薬を使用していない患者）と同等か？

アスピリンを含む非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）を服用している患者に対しては、休薬せずに眼窩上神経ブロックを施行してよい。それ以外の抗血小板薬および抗凝固薬を服用している患者に対しては、十分な検討をした後に眼窩上神経ブロックを施行することが望ましい。

推奨度，エビデンス総体の総括：2D

解 説：

眼窩上神経は、眼窩上孔（切痕）から眼窩上動・静脈と並走して前頭部の皮膚に分布する。眼窩上神経ブロックは、ランドマーク法、超音波ガイド下に行う。

これまで、抗凝固薬や抗血小板薬を使用している患者に眼窩上神経ブロックを安全に施行できるか、出血性合併症のリスクは対照群（抗凝固薬や抗血小板薬を使用していない患者）と同等か、という問いに対する RCT は存在しない。症例報告もほとんどなく、海外のガイドラインにおいても、眼窩上神経ブロックに関する記載はない。症例報告としては、抗凝固薬や抗血小板薬使用の有無についての記載はないが、54 件の眼窩上神経ブロック施行後に 1 件血腫をきたしたとの報告がある。

米国（ASRA）のガイドラインでは、浅部のブロック全般が低リスク、英国のガイドラインでは、浅部であっても血管と並走する神経に対するブロックは中等度リスクの手技と位置づけている。並走する眼窩上動脈損傷による出血リスクにある程度注意が必要ではあるが、体表に近く、圧迫止血が可能であるため、眼窩上神経ブロックは低リスク神経ブロックといえる。海外のガイドライン（米国）では、低リスクの末梢神経ブロックはアスピリンを含む NSAIDs を休薬せずに施行可能であるとしている。また、その他の抗血小板薬や抗凝固薬に関しては、① 複数の抗血小板薬・抗凝固薬の内服、② 高齢者、③ 高度な肝・腎機能低下、④ 異常出血の既往の有無なども加味して、薬物に応じた適切な休薬期間を設けるか否かを決定することを推奨している。

なお、総論部分との繰り返しになるが、上記推奨事項はあくまでも現存の資料等から考察されたものであり、個別症例に対する適用では、症例ごとの特性に基づき個別に判断されるべきものである。

参考文献

1. Ismail AR, Anthony T, Mordant DJ, et al: Regional nerve block of the upper eyelid in oculoplastic surgery. Eur J Ophthalmol 2006; 16: 509-513
＜ガイドライン＞

非ステロイド性抗炎症薬：
NSAIDs：nonsteroidal
anti-inflammatory drugs

無作為化比較試験／ランダム
化比較試験：
RCT：randomized controlled
trial

米国区域麻酔学会：
ASRA：American Society of
Regional Anesthesia and Pain
Medicine

米 国

2. Horlocker TT, Wedel DJ, Rowlingson JC, et al: Regional anesthesia in the patient receiving antithrombotic or thrombolytic therapy: American Society of Regional Anesthesia and Pain Medicine Evidence-Based Guidelines, 3rd ed. Reg Anesth Pain Med 2010; 35: 64-101

欧 州

3. Gogarten W, Vandermeulen E, Van Aken H, et al: Regional anaesthesia and antithrombotic agents: recommendations of the European Society of Anaesthesiology. Eur J Anaesthesiol 2010; 27: 999-1015

英 国

4. Working Party, Association of Anaesthetists of Great Britain & Ireland, Obstetric Anaesthetists' Association, et al: Regional anaesthesia and patients with abnormalities of coagulation: the Association of Anaesthetists of Great Britain & Ireland The Obstetric Anaesthetists' Association Regional Anaesthesia UK. Anaesthesia 2013; 68: 966-972